

部門紹介 ～手術部～

手術室 主任 渡辺 孝幸

手術部門は、麻酔科医1名、看護師7名、看護助手1名の個性豊かなスタッフで、手術室、内視鏡室、中央材料室を管理しています。泌尿器科、整形外科、外科の手術を年間およそ750件、消化器内視鏡を1400件、尿路結石破碎治療を250件行っています。様々な医療器械を使用し、多様な手術を行っていますので、患者様の安全を守るため、正しい知識と技術が不可欠です。そのため、院内院外研修に積極的に参加し、知識・技術の向上に努めています。

手術室



手術室は3室あり、1室は腎・尿管結石に対する体外衝撃波治療専門室で、昨年末にはドルニエ社の最新器機を導入しました。外科手術室は2室で、最新の麻酔器、最先端のHoYAGレーザー装置2機や内視鏡設備、外科用イメージなどを駆使して、泌尿器科では内視鏡結石除去術、レーザー前立腺切除術、膀胱悪性腫瘍手術、腹腔鏡手術（前立腺、腎臓、尿管）を主に行っています。整形外科では骨折全般手術、人工関節置換術（膝・股関節）など、外科では消化器癌の手術のほか、ソケイヘルニア、外来手術（粉瘤、陥入爪）などを行っています。また、患者様が安心して手術が受けられるように術前術後訪問を行っています。手術は執刀医、麻酔科医、看護師の協働作業ですので、密な連携を取りながら正確な治療が行えるよう努力しています。

内視鏡室



当院では、2018年6月に消化器内視鏡システムを最新型にグレードアップし、患者様に優しい経鼻内視鏡も複数揃えました。にしくぼ診療所での健診時の胃カメラの件数を週10件から15件へ増やし、地域の皆様の健康維持に少しでもお役にたてればと考えています。今後も消化器がんの早期発見の一助となるよう、より一層努力いたします。

中央材料室



病棟や外来で使用した鋼製小物や手術室で使用した器械の洗浄・乾燥・点検・滅菌・保管を行っている部署です。確実に滅菌されているか確認するために様々なモニタリングを実施し評価しています。また、勉強会やセミナーに参加し最新の情報を得て、安全に、より安心して器材を使用してもらえよう業務に取り組んでいます。患者様と接する機会は少ないのですが、病院を支える裏方として頑張っています。



手術室スタッフ



麻酔科医の
保富です